

# 平成30年度札幌円山幼稚園学校評価委員会の審議結果報告

委員長 美濃島茂樹（本園理事・卒業生・学識経験者）  
委員 結城 理恵（卒業生保護者、地域住民）  
委員 新津美智子（卒業生保護者、地域住民）

## 【目次】

1. 審議の概要
2. 総合評価
3. 平成30年度保護者アンケートの回答として寄せられた肯定的な感想と意見
4. 平成30年度アンケートにおける教育目標（A.【教育のめざすところ】 B.【発達段階】 C.【教育内容】 D.【教育の特色】）に関する量的評価の結果
5. 平成30年度アンケートにおける教育目標（A.【教育のめざすところ】 B.【発達段階】 C.【教育内容】 D.【教育の特色】）に関する量的評価の結果の総括
6. 今年度の重点目標1「安全な教育環境づくりに向けての取り組み」とその評価  
～災害、交通事故、不審者対策、交通安全、園内安全対策を中心に～
7. 今年度の重点目標2「園児の諸行事への積極的な参加の推進」とその評価  
～幼児の好奇心を喚起し、多面的な潜在能力を総合的に引き出し、感受性と思考力を育てる特色のある諸行事の展開～

## 1. 審議の概要

本委員会は、上記3名の委員により平成31年7月1日から7月5日にかけておこなわれた。審議の内容は、平成31年6月3日に札幌円山幼稚園から出された「平成29年度札幌円山幼稚園の学校評価 -本園の教育目標と平成30年度の重点目標-」（以下『学校評価』と記述する）を中心におこなわれたものであり、その審議結果の報告書、つまり本書は7月8日に竹下満喜恵理事長・園長に提出された。

この報告書『学校評価』は、次の「1」と「2」の二つのアンケートと「3」に基づいて作成されている。

- ・「1」 教職員に向けて、平成31年2月3日に教職員に呈示し、2月6日に集計した「平成29年度の札幌円山幼稚園における教育実践の自己評価」（以下「自己評価」と記述する）
- ・「2」 それをふまえて、保護者に向けて、平成31年2月7日に配布し、2月18-25日を提出期限とした【A-B-C】の3段階の選択肢からなるアンケート回答と自由記述による感想や意見を求めた「札幌円山幼稚園の教育についてのアンケートのお願い」（以下『保護者アンケート』と記述する）。
- ・「3」 上記二つを比較しながら分析検討し、その結果に対して本園の見解を付して平成31年3月16日に保護者に提出した「本園の教育についてのアンケートへのお礼と見解」（以下『見解』と記述する）。

## 2. 総合評価

この『学校評価』は、多岐にわたる項目を設定し、「1」と「2」のアンケートを比較分析し検討した結果とそれをもとにして幼稚園側の見解を保護者に提示したもの（「3」）から成り立っていて、本園の幼児教育に対する並々ならぬ熱意と教育実践の真摯な取り組みの様子が拝見できる。

報告にあたって、最初に審議の結論を述べることにする。札幌円山幼稚園では、この『学校評価』をめぐる検討作業を、自らの教育実践を総点検し対象化する重要な営為として位置づけている。また、その作業過程では、教職員による『自己評価アンケート』と『保護者アンケート』とを一元化し相互に関連づけながら考察し、次年度の教育計画を立案するために有効に活用しようとしている点で、ひじょうに本質的で構造化された取り組みと言え、当園の教育への姿勢は高く評価できる。

換言すれば、札幌円山幼稚園の教育をよりよいものにしようとするその姿勢は、文部科学省が自己評価の在り方として提示している「目標(Plan)-実行(Do)-評価(Check)-改善(Action)というPDCAサイクル」に基づいてしっかり教育実践に関わっていることの証左にほかならない。また、本園では、保護者の意向に丹念に耳を傾け、教育活動や園運営にそれを活かそうとする姿勢が顕著にみられることがすばらしいと思う。

なお、委員会から、文部科学省の「PDCAサイクル」における評価(Check)という用語には「照合」を意味する含意があり、それはモジュール、つまり部品を集合させて実態を把握するというニュアンスをもつ有機性を欠いた考え方が色濃くみられ甚だ疑問を感じざるをえないという率直な指摘が出された。評価は、このようにプラグマティックに取り扱うのではなく、実践と真摯に向き合いその全体性を大切にしながら次への方向を追求し続けていくべきであるという点では、本来の評価(Evaluation)を用いるべきであるとの議論がなされた。そして、札幌円山幼稚園の教育評価は、基本的にこの評価(Evaluation)を到達点として、教育理念や目標の設定と計画・実行の段階での教育方法学の適用との一元化：総合化を図りながらつねにおこなわれている点で卓越したものであるといえる。

最後に、本委員会は、札幌円山幼稚園の、園児たちに真摯に向き合う5本柱の教育（①自由遊び、②体育遊び、③総合表現活動、④自然体験学習園での活動、⑤英語遊び）に関する情宣をもっと積極的におこなうべきであるという指摘をし、更なる発展を期待したいと思う。つまり、平成30年度も札幌円山幼稚園が、園児たちの多面的で全面的で総合的な発達を促すために、教職員が独創的な着想を考え出し、継続して丹念な取り組みをおこなってきたことを高く評価しているが、その成果をより広く社会や教育界に披歴し他園や日本の幼児教育に影響を及ぼし、批判を仰ぎ更なる発展の契機とするような努力を惜しまないよう期待したい。

### 3. 平成30年度保護者アンケートの回答として寄せられた肯定的な感想と意見

はじめに、アンケート回答時に付された当幼稚園の運営と教育に関するたくさんの保護者からの肯定的な感想や温かい意見の中からいくつか引用したいと思います。

#### <全体>

- ・昨年4月に転入させていただきました。毎日沢山の行事があり、園外にも連れて行って頂いたり充実した園生活を送らせていただき感謝申し上げます。朝も帰りもいつも明るくニコニコした元気いっぱいの先生方に迎えられ、安心して預けることができしております。担当の先生だけではなく、他の先生であっても、親子の顔を覚えてくださっていたり、とても熱心にご指導してくださり、有難く思います。息子の「3年間円山幼稚園で過ごしたかった」という言葉が全てだと思います。
- ・姉弟で6年間お世話になり本当にありがとうございます。大切な幼少期を円山幼稚園の教育、そして先生方お一人お一人の優しさ・強さに支えられ、楽しくのびのび過ごすことができたことを心より嬉しく思い、感謝申し上げます。
- ・上の子で2年、下の子で3年間お世話になりましたが、先生方には日頃から感謝の気持ちでいっぱいです。年少の時は人見知りでもいつもモジモジしていたのが、3年間でとても成長し、色々な行事で堂々と歌ったり、踊ったり、走ったりしている姿を見て、先生方の毎日の接し方によってこんなにかわれるんだなあ嬉しく思っています。ありがとうございます！

#### <5本柱の遊び>

- ・5本柱の教育カリキュラムは、非常にバランスがよく、子どもも毎日幼稚園に行くのが大好きで少しずつできることも増え、参観の度に成長した姿が見られ感謝しております。落ち着きのない息子をここまでまとめてくれる先生に心から感謝しております。残りわずかですが、どうぞよろしく願いいたします。
- ・“遊びの5本柱”、しっかり身につけているのを感じた一年でした。「自分で自由に工作して楽しんでいる様子」「季節が変わるごとに色々な歌を口ずさんでいる」「興奮しておひさまひろばでのことを話してくれる」「こっちの足でもけんけんできるようにになったんだよ」「ポンポンと英語の単語を得意げに教えてくれる」どの姿も成長を感じる瞬間でした。
- ・日頃より整った教育環境、あたたかなご指導をありがとうございます。生活面では、バランスの良い5つのあそびの中で、子どもが楽しそうに取り組んでいる様子を伺え感謝しております。送迎バスは、毎日時間も正確で水たまりや雪にもご配慮いただいております。今後とも、よろしく願いいたします。

#### <総合表現活動>

- ・我が家は3人それぞれ違う幼稚園に通いましたが、円山幼稚園に通った息子は、一番歌をよく歌い、歌が上手な気がします。日頃から歌を歌うことに対して楽しんでいる証拠だと思います。息子はやんちゃで色々な面倒もかけたと思いますが、一度も幼稚園に行きたくないといったことはなく、楽しく通園させていただきました。本当にありがとうございます。
- ・発表会や参観日に行くたびに、日頃の先生方の指導に感謝しています。先日の太鼓の発表会では、我が子の真剣な表情で先生を見つめ、声を出し腕を振り上げている姿にとっても感動しました。歌も大好きになり、家の中で歌っている姿を見ると、とても幸せな気持ちになります。たくさんの経験をさせていただいてありがとうございます。
- ・自分のことがほとんどできず（やろうとせず）私まかせだった息子が教えていないことを自分で進んでやろうとしたり、教えてくれたりするのを見て、先生の指導や環境でやる気になっているんだなと感じています。うたも覚えて歌ってくれたりするのをきくと、こんなにたくさん覚えているんだとびっくりします。この1年でとても成長していると思います。

#### <教育発表会>

- ・毎年教育発表会での先生方によるピアノ演奏が素晴らしかったです。子どもたちの演技とともにいつも楽しみにしていました。先生方にとっては大変なご苦労かと思いますが、生演奏でのオペレッタ、とても素敵なのでこれからも続けていってほしいと思います。長い間お世話になりました。これからも子どもたちと先生の笑顔があふれる幼稚園であってください。
- ・教育発表会はさすが年長さんと感動しました。発表会後に振りを同じ役のお友だちと話し合い決めたと聞いて、先生に教えてもらうだけでなく、子どもたちに自ら考えてもらうということを知り、とても嬉しく思いました。ありがとうございます。
- ・発表会の音楽劇は、子どもたちの成長振りにとても感動しました。人前になるとシャイなタイプの我が子が堂々と声を出して頑張っていて、見ていて泣きそうになりました。4月からは年長さん、残り1年の幼稚園生活を親子で楽しみたいと思います。

#### <保護者⇄園児の成長⇄教職員>

- ・3年間、息子たち2人が大変お世話になりました。幼稚園を毎日楽しみにしており、休むのを嫌がっていたのが何より嬉しかったです。帰宅すると、どんな事をして遊んだかなど毎日よく話してくれ、安心して通わせることができました。特に、体育あそびや英語あそびは大好きだったようです。残りわずかな園生活になりますが、どうぞよろしく願い致します。
- ・園へ行くと先生方皆さんが明るく笑顔で対応してくださるので、ホッと嬉しい気持ちになります。担任の先生はもちろんですが、他のクラスの先生も園での子どもの様子を色々話してくださり、クラスを超えて色々な先生方を見ていてくれるんだな・・・と安心しました。
- ・3年間、担任の先生方だけではなく、様々な先生方に関わりを持っていただき温かく見守り、ご指導いただき本当にありがとうございます。入園するまでは母から片時も離れたことがなく、初めての登園の時は私もさびしい気持ちだったことがとてもなつかしく思い出されます。母子ともに成長した3年間だったと思います。たくさんの思い出をありがとうございます。

#### <おひさまひろば⇄食育>

- ・「おひさまひろば」での活動を通して、苦手だったじゃがいもを食べられるようになりました。担任の先生が大好きで、毎日お会い出来る事が嬉しいようです。また、お友だちの輪も広がり、日々楽しく、元気に過ごせているようです。
- ・先生方には日ごろから大変お世話になり感謝しています。お陰様で子どもも毎日楽しく幼稚園に通うことができています。特にじゃがいもを育てることなど自然に触れさせる機会が子どもには大切ですので今後もぜひ続けていただきたいと思います。
- ・おひさま広場や、円山公園など園外保育を通して、たくさんのことに触れたり、見たりする機会があり、この時期にしか感じ取ることでできない経験をさせて頂き、有りがたくおもっております。

#### <誕生会>

- ・誕生会はとても素晴らしく、続けていってほしいです。特に先生方の出し物（劇等）は感動しました。先生方のがんばりと、それに対する園児たちの元気な反応や笑顔を見て、素晴らしい幼稚園だな、円山幼稚園にしてよかったな、と思いました。

#### <英語あそび>

- ・小さい頃から本物の英語に触れられて、円山幼稚園にして本当に良かったです。

#### <異年齢交流>

- ・年中、年長さんが下級の子の面倒を見てくれたり、遊んでくれるのが、とてもありがたく、園外でバッタリ会った時も名前を呼んでくれて喜んでかけ寄っていく姿は、ほほえましく親としてとてもうれしいです。

#### <感染症>

- ・感染症対策がしっかりされていて、安心して通園できます。ありがとうございます。

このような評価、またここでは割愛した数えきれない肯定的な評価のおかげで、教職員たちは1年間の自らの教育実践に対する日ごろの苦勞が報われたものと思われる。

## 4. 平成29年度アンケート量的結果の総括

今回のアンケートの主たる目的は、保護者に本園の教育指導に関する各項目に3段階評価をしてもらい、今後の教育をよりよく推進するための重要なよりどころとすることである。

また、保護者へのアンケートの依頼に先だって、教職員にも自己評価、つまり自らの教育を総括するための同様なアンケートの回答を求めた。

これよりは、保護者の回答結果と教職員の自己評価とを比較しながら総括がなされた内容について紹介するので、末尾に掲げた「平成30年度保護者アンケート評価と教職員自己評価の比較」を参照されたい。

### 平成30年度アンケート結果の総括

【(よい・ふつう・改善を望む)で求めた量的(%)な評価結果】

#### ア) 肯定的評価

- ① 保護者のアンケート回答結果を見ると、以下のような考え方に基づく平成30年度の教育に概ねご支持をいただいたものと受けとめさせていただいた。

本園では、お子さまが入園するときに、保護者の皆さまに、①(園内と園庭での)自由遊び、②体育遊び、③総合表現活動、④自然体験学習園での活動、⑤英語遊びを5本柱として掲げ、それらを総合して教育することを重要な契約条件としているし、そのことをその後も機会あるごとに確認してきた。

教職員には、このカリキュラムが、長年にわたり本園教職員一同が教育理論と教育実践を積み重ねて到達したバランスのよくとれた、本質的で現代的な、また伝統的で改革的な幼児教育プログラムであるという自負が感じられる。そして、教職員が、これらを有機的・総合的に実践することこそが幼児の発達を理想的に実現する本道であると認識し教育をしてきた。また、この5本柱の遊びを通して園児の感受性、思考力、諸能力の成長が具体的に保護者にはっきり見えるように努めてきた。

本年度の教育実践について評価して欲しかったのは次の4点である。

A.【本園のめざす教育】本園の遊び中心の教育では、園児がいろいろな遊びや活動や行事にわくわくしながら熱心に関わり、心と頭と体を全部使って自己実現を図ることをねらいとする

B.【発達段階】各学年の発達段階に適した教育をおこない、学年進行に伴いそれらがしっかひの積み上げられるように努める

C.【教育内容】感じる力・考える力・諸能力を確かに育成する、より高い水準の教育をめざす  
回答結果によると、これらのうち、Aは79.8%、Bは85.1%、Cは72.4%が「よい」と評価されたので、今後もさらに研鑽と努力をして充実を図ると意を新たにしている。

- ② D.【本園の特色ある教育=5本柱の遊び中心のカリキュラム ~のびのびした子ども時代のための、たくましく立ち立つるために~】

「総合表現活動」は83.8%、

「おひさまひろば」は86.8%

「体育遊び」は78.9%、

「英語遊び」は81.1%とよい評価を得た。

- E. 「お誕生会」は81.6%、  
「収穫祭」は84.2%、  
「運動会」は78.5%、  
「教育発表会」は87.7%、  
「総合表現活動」は81.1%、と高い評価を得た。

ここには教職員の長年にわたる努力によりかなりの高い水準で花が開き始めたものと受けとめてもよいだろう。

#### イ) 改善すべき評価

- ① 昨年の場合、「自由遊び」は、保護者は71.1%であったのに対して、教職員は42.1%と極めて低く自己評価した。これは、教職員が日々の設定保育や朝の会といったルーチン活動には相当の時間をかけて準備し熱のこもった取り組みを展開しているのに比べて、自由遊びの場合は多様な種類や方法の遊びを呈示できているとは言えず、時には途中で飽きさせてしまっていることを率直に認める反省の気持ちが込められていた。しかし、本年は教職員が一丸になって向上がみられたと受けとめ、今後も切磋琢磨して研究や研修を重ねて質の高い実践をするつもりである。

また、(以下、最初が保護者の評価、2番目が教職員の評価)

「親子遠足」は66.5%、52.6%、

「個人懇談」は74.6%、31.6%、

「参観日」は77.7%、57.9%でした。

「親子遠足」は天気の影響が大きいこともあるが、内容や方法に検討の必要があると考えている。

「個人懇談」は担任の努力の跡がみられるようだが、より一層の努力の必要を感じている。

「参観日」は教職員が折角参加してくれた保護者に感動的な教育実践を見せようとしていなという実感があり、更なる研修と工夫をしたいと考えている。

- ② 保護者と教職員の評価を比較すると、例えば「個人懇談」では、保護者の「よい」が74.6%であるのに対して、教職員の「よい」は31.6%と著しく低い結果が示された。これは、園児の様子や言動を保護者の方へ適切に伝えることができたのか心配であるという気持ちと更なる努力の必要性が反映されているものと思われる。

## 5. 平成30年度アンケートにおける教育目標(A. B. C. D.)に関する量的評価\*の結果の総括

\* (【よい・ふつう・改善を望む】を選択肢として求めた%)

前項の「平成30年度アンケート量的評価結果」をもとにして、園側はその総括を、肯定的評価と改善すべき評価に分けておこなっている。(「3」から引用)

#### ア) 肯定的評価

- ① 保護者からのアンケート結果を見ると、以下のような考え方に基づく平成30年度の教育が概ね支持されたものと受けとめてよいだろう。

本園では、入園時に、保護者に、①(園内と園庭での)自由遊び、②体育遊び、③総合表現活動、④自然体験学習園での活動、⑤英語遊びを5本柱として掲げ、それらを総合的に教育することを重要な契約条件として認めていただき、機会あるごとに訴えてきた。

このカリキュラムは、長年にわたり本園教職員一同が教育理論と教育実践を積み重ねて到達したバランスのよくとれた、本質的で現代的な、また伝統的で改革的な幼児教育プログラムであると自負しています。そして、子どもはこれらを有機的・総合的に実践することこそが幼児の発達を理想的に実現する本道であると認識し教育がなされてきた。また、この5本柱の遊びを通してお園児の感受性、思考力、諸能力の成長が具体的に保護者にはっきり見えるように努めてきた。

回答結果によると、これらのうち、A、B、Cはともに「よい」が80%を少し割るほど高いものだったが、今後のさらなる研鑽と努力を期待したい。

- ② 本年は「おひさまひろば」の活動は86.3%、高い評価を得た。これは、教職員の長年にわたる努力によりかなりの水準で花が開き始めたものと受けとめてよいだろう。

また、特筆すべきは「英語遊び」が85.3%と高い支持が得られたが、これは保護者から強い期待が寄せられているものと受け今後とも努力を続けてほしい。

#### イ) 改善すべき評価

- ① 相対的に低かったのは、「自由遊び」であり、教職員は42.1%だった(保護者は71.1%)。教職員は、日々の設定保育や朝の会といったルーチン活動には相当の時間をかけて準備し熱のこもった取り組みを展開している。それに比べて、「自由遊び」では、園児に多様な種類や方法の遊びを呈示してはいるものの、それらのよりよい環境づくり(素材の吟味・意欲喚起の手だて・遊びの質的向上の研究など)と指導の手だて(子どもへの声かけ・励まし方・説得の方法など)が十分とは言えないという反省の気持ちが込められている。今後、切磋琢磨して研究や研修を重ね、子どもが真に楽しいと感じ、より高い質の遊びを求めていくような「自由遊び」になるように努めてほしい。また、今年度から、午後保育の日の保育時間を30分程度長くし園児にも保護者にも喜んでもらえていると思うが、それをどのように有効に活用するかの工夫を今後もしていく必要があると考える。

## 6. 今年度の重点目標1「安全な教育環境づくりに向けての取り組み」とその評価

～災害、交通事故、不審者対策、交通安全、園内安全対策を中心に～

### ウ) アンケート回答の量的結果の検討

以下では、別刷の「平成30年度保護者アンケート評価と教職員自己評価の比較」を参照しながら説明すると次のようになる。

今回のアンケート回答結果によると、次の1)から5)の「A よい」の%を保護者、教職員の順に列記すると次の通りである。

- 1) わが子と災害についてよく話し合っている。
- 2) わが子と不審者対策についてよく話し合っている。
- 3) わが子と交通事故についてよく話し合っている。
- 4) 元気盛りのわが子は、家庭内でも戸外でも、とっさに危険なことをするので注意をするがなかなか言うことをきかないことがある。しかし、危険なことをいつも敏感に予知し、起こりそうになったら間髪を入れずに注意し、時には叱責するように努めている。(行動のコントロール)
- 5) わが子は、公道や雪道や雪山で危険な行動や自分勝手なことをすることがありその都度ヒヤヒヤするが、根気強く真剣に指導している。

	保護者	教職員
1 災 害	38.6%	77.3%
2 不審者対策	45.2%	50.0%
3 交 通 事 故	78.1%	77.3%
4 公道のコントロール	70.6%	68.2%
5 公道・雪道・雪山	64.0%	68.2%

1)から3)は幼児への安全に関する家庭や園での子どもとの話し合いの実情であろう。

4)と5)は日常生活における子どもの行動と大人の関与の実情であろう。

これらによると交通事故を考える真剣な土壌は備わっているが、災害や不審者への対策はもう少し積極的に進めるべきことを示している。

また、道路沿いに潜む危険性に対しては一定程度の指導がなされているが、もう少し密度の濃いものに強化される必要である。

保護者の公道や雪道や公園・道道沿いの雪山の危険性への配慮はもう少し意識的にする必要があるだろう。このような園児の命を守るための取り組みには保護者の理解とご協力がどうしても必要である。家庭でもすでに災害や犯罪や交通事故などについて話し合い、いろいろな備えをされているはずである。

いずれにしても教職員と保護者の責務の中で最も大切なことは、お子さまの安全をしっかりと守りながら成長を促すことだと思う。

### エ) 保護者からのアンケート回答として寄せられた意見や提案や要望

次に幼児が安全に安心して暮らすことのできる環境づくりとその諸問題について意見や提案や要望があった。特に、火事や震災などの災害に備えた避難訓練、園内安全対策、とりわけ園舎や遊具の安全点検、門扉への電子錠をはじめとする不審者対策、3回以上の避難訓練、年2回の交通安全教室をはじめとする安全教育への対応等についての指摘や要望については真摯に受けとめ検討したことがらについて園の見解を以下のように記されている。

#### [安全に対する意識]

- ・「近所の大人がみんなで子どもを見守る一昔前のような人と人との絆が感じられる地域になればいいなと思います。」
- ・「父親や母親からの徹底指導、あとは実践あるのみ。そして経験だと思います。命にかかわることなので、繰り返し指導しても足りないくらいかなと感じます。」
- ・「(私はわが子と)常に行動を共にし、見守っておりますが、日々より良い環境づくりの模索をしています。」
- ・「家庭でも日頃から安全などについて、話し合いや指導をしていきたいと思っております。合わせて、幼稚園でも引き続き安全教育や対応をお願いしたいと思っております。」

#### [設備備品の固定]

- ・「地震のあと、保育室にある棚等の固定をお願いしたが改善された様子がなく残念でした。またいつ起きるか分からない災害に対して、命やけがに関わることで、備えていただいた方がよろしいかと思っております。」
- これまで備品や教具の固定作業は継続的におこなっているのですが数が多いためにまだ手を付けていないところがありご心配をおかけしてすみませんでした。重大な被害をこうむりかねないことから予算のことも勘案しながらとりかかるつもりです。保育室の園児用のロッカーについては春休みに教職員で固定します。

#### [避難訓練]

- ・「地震の避難訓練があるとよいと思います。いざというときは、座布団をかぶるという意識づけをしてほしい。」
- これまでの避難訓練は、火災中心のものが2回、地震中心のものが1回、10月1日前後に全国一斉に行われるシェイクアウト等です。

#### [防災頭巾]

- ・「札幌も地震が来ることがあるという意識を高めて頭巾は必要かと思う。座布団では片手しか使えないので危ないと思う。」
- ・「昨年度に防災頭巾を用意されていない点をうかがった際に「北海道では自信が少ないため」とのご解答をいただきましたが、その後北海道地区においても大きな地震が発生しました。転勤のご家族が多い地域でありますから、子どもがいつどの地方へ行くかもしれません。ヘルメット、防災頭巾をかぶることを習慣つける為にも日頃らご用意いただく方がいいのではないかと思います。」→おっしゃる通りですので、避難訓練だけでなく、防災頭巾を用意することを新学期に向けて検討し皆さまに提案させていただきます、よいアイデア等がありましたら園ま

でお知らせください。

#### [電子錠の設置]

・「施錠に関しては、入園時と比べると格段に良くなりました。ありがとうございます。今後も継続した取り組みをお願いいたします。」

→ご感想に感謝します。

#### [門扉の電子錠の開閉]

・「子どものための環境づくりに配慮いただきありがとうございます。たまに園へ子どもを迎えに行く機会がありますが、電子施錠が開けっ放しのことがたびたびあるので、徹底することをさらに促す必要があると思います。」

・「門が開いたままのことがあるので、もう少し徹底して頂けるとありがたいです。」

・「ひまわりのお迎えの時、門があいていることがあります。短時間でも閉めてもらえるように、保護者にお知らせをして頂きたいです。」

→園にいらしたら開錠した後必ず閉めてからお入りいただき、お帰りになるときも開けた後必ず閉めてください。

園の関係者以外には防犯カメラで指示していますので、ほとんどは保護者の閉め忘れですのでよろしくご協力ください。

#### [バスのシートベルト]

・「バスでシートベルトを着用しないのが心配です。特に冬道や山麓道の通過時は、自家用車で慣れていても緊張して運転する道なので、何か対策をしていただければと思います。」

→国の規程では幼児用スクールバスには園児の緊急時の俊敏な行動の必要性、体格差などを勘案してシートベルトが義務づけられていません。しかし、安全にお子さまの送り迎えをするために、ふざけたり後や横をむいたりせずに、常に背中とお尻を背もたれにしっかりつけているように根気強く指示していますので、ご理解ください。

#### [園の自家用車の出し入れ]

・園内への車の出し入れは危険なので園児の送迎時間に重ならないようにして頂きたいです。

→業者や給食配送者や園の自家用車の乗り入れは園児の登降園や活動に支障がないように安全に配慮しておこなっています。

しかし、園児や教職員の急病送迎、著しく緊急の用務が生じたときには、先生たちに園児の安全確保をお願いして、やむを得ず乗り入れすることがあることをご理解ください。保護者の皆さまの送り迎えの時には、皆さまがお子さまをしっかりと見ていただき安全確保をお願いします。また、担任をはじめ教職員からのたびたびのお願いですが、お子さまを引き取られましたら園庭で立ち止まって保護者の皆さままでお話しすることはご遠慮いただいて速やかに帰宅していただきたいと思います。

#### [徒歩通園の方の送迎]

・「北1条通りから幼稚園までの道のりは車通りが多いのですが、子どもたちが走ったり雪であそびながら帰る様子が見られて「危ない」と思いました。」

→保護者の方が、しっかりと手を繋いでいただくようお願いいたします。

・「朝の送り時、教室まで親が連れていかなければならないのは、どういう理由だったのか？ 年長となれば、次は小学校まで親なして行くようになることも予想されるので、玄関までの見送りでも良いのでは？ 特に、冬期はブーツを着脱するのに子どもたちの邪魔にもなり、ブルーシートまで運ぶまでに、足底の雪を廊下に落としたりと、子どもの転倒にも繋がるので、対応を検討してほしい。」

・「徒歩で通っているのですが、朝教室まで付き添うという決まりがあると思うのですが、1人で行っている子を多々見かけます。もう園内なので事故にあうことも不審者がいるわけでもないのに、我が子も1人で教室まで行かせたいのですが…。」

・「徒歩組の登園、降園ですが、混雑しています。赤ちゃんを抱きながら靴を脱ぐ方は特に大変そうです。朝は階段があるので教室まで一緒に行ってもいいのですが、帰りはお母さんたちが靴を脱がなくても良い方法はありませんか？」

→歩いて登降園をされる保護者の皆さまには、登校時はお子さまを担任に直接手渡し、お帰りの時は教職員から受け取られることをお願いしてきましたし、これからもそのようにお願いします。階段でころんだり園児同士がぶつかったりすることもあり得ますので、年長児であってもそのようにしてください。大人がその間に事故やトラブルが起り責任の所在について争いごとになるのは悲しいですのでそうすることが賢明ではないでしょうか。おっしゃる通り、冬期のブーツの着脱はたいへんですがご理解いただきますように重ねてお願いします。

・「お迎えの際に玄関が混雑し、トラブルもよく見かけるので改善していただけると良いと思います。」

・「送り迎えの時間が10分間しか幅がないためかなり混雑します。特に年中長はすごい列になっています。小学校の下校時間の関係もあるのでもう少し幅を持たせて頂けると助かります。以前は15分ほどあったと思います。」

→時間的なやりくりが可能かどうか検討してみます。

#### [園内の安全対策]

・「園庭の三輪車の強度が少し気になりました」

→今後も点検をしながら安全に使用したいと思います。

・「幼稚園の中の階段ごとに壁に飾ってある絵が歴史を感じて素敵ですが、地震の際に落ちてきたらとても『危険』だなと入園当初から感じています。大きさも結構あるので心配です。」

→階段の壁にかけてある卒業生によるそれぞれの絵は設置する段階でしっかりと据え付けてあります。

・「バス停(5コース 宮の森3条10丁目)付近に路駐している車が多く、子どもの姿が車の陰にかくれてしまったり、急に車が動き出したときに、危険を感じる場合があります。数十メートル下に移動するなどできないでしょうか。」

→検討します。

・「北1条通りから幼稚園までの道のりは車通りが多いのですが、子どもたちが走ったり雪であそびながら帰る様子が見られて「危ない」と思いました。」

→保護者の方が、しっかりと手を繋いでいただくようお願いいたします。

・「安全教室等は、子どもも興味を持ってお話を聞いて覚えているようなので体験型で増やしてもらえると有難いで

す。園が町中にあるので周辺の道路への飛び出しなど、ヒヤッとすることがあります。」  
→検討します。  
・「バス停で、きちんと受け渡ししてくれていると思います。」  
→ありがとうございます。  
・「園の外階段は冬危ないので、赤ちゃん連れや妊娠中の保護者にとっては辛いです。」  
→こまめに除雪をするように努めますので、お気をつけてご利用ください。  
・「冬・コスモ前の小学生が、3階ホール前の階段であそんでいて、上ってきた園児が落ちそうで見ていて怖いです。」  
→コスモの先生にも話をし、注意していくように努めます。  
・「いまだに、園内まで自転車を降りずにいる方がいます。」  
→たびたびのお願いですが絶対にお守りいただきたいことが一つ、大変危険ですので、自転車は必ず、降りてから園内に入り、園外に出でから乗るようにしてください!!

## 7. 今年度の重点目標2「園児の諸行事への積極的な参加の推進」とその評価

～幼児の好奇心を喚起し、多面的な潜在能力を総合的に引き出し、感受性と思考力を育てる特色のある諸行事の展開～

### 1. お誕生会

お誕生会では、誕生児が園児たちに祝ってもらおうと同時に、親子ともどもに成長の喜びを実感し合う機会と位置づけている。歌を歌ったりお祝いの言葉をかけあったりするさまをごらんいただく機会であり、親や仲間の前で言語によってしっかり自分のことを表現できるコミュニケーション能力の育ちを実感する節目の機会でもある。

### 2. おひさまひろばの活動と収穫祭

保護者の協力や支援のもと、おひさまひろばでの種まきや種イモの植えつけから始まる一連の活動はお子さまにとって大きな喜びと成長をもたらすものと考えている。また、自然体験学習園での活動の総決算である収穫祭では、作物を採り、じゃがいもを食し、歌や踊りを楽しみ、子どもたちの全面的な成長の機会としている。

### 3. 運動会

運動会では、元気いっぱいの子、全力で走り応援する子の姿を見ることができ、お遊戯の水準を超えて、子どもなりに美しさやエネルギーのほとばしりをしっかり表現できるダンスを披露する。このような経験を土台にして、子どもたちは、小学校のダンス授業でも意欲的に表現してくれるものと思う。

### 4. 教育発表会

教育発表会では、子どもたちの感情を豊かに耕すための日常の教育活動の成果を披れきし、保護者の評価を得る。

### 5. 総合表現活動発表会

総合表現発表会では、子どもたちの感情を豊かに耕すための日常の教育活動の成果を披れきし、保護者の評価を得る。けんけん大会では、子どもたちの感情を豊かに耕すための日常の教育活動の成果を披れきし、保護者の評価を得る。

### 6. 親子遠足

親子遠足では、親子が、終日、戸外で楽しい時間をともにし親睦を深める。

### 7. 個人懇談日

個人懇談における担任教師との話し合いを、子どもの成長にとって有益な機会とする。

### 8. 参観日

参観日では、子どもが成長する様子を多面的に見てもらい、評価をうる。

以上の8つの行事の中で、保護者がAと評価をしたのは、「お誕生会」81.6%「収穫祭」84.2%、「教育発表会」87.7%である。これは、教職員の長年にわたる努力によりかなりの水準で花が開き始めたものと判断できる。

それに対して、「個人懇談」では、保護者のAが76.3%であるのに対して、教職員のAは68.2%と著しく低い結果が示されました。これは、園児の様子や言動を保護者の方へ適切に伝えることができたか心配であるという気持ちと更なる努力の必要性が反映されているものと思われる。

また、この審議に先立って、園長から、追加報告として、教職員の「運動会」のAが78.5%だったのに対して、保護者は95.5%であり、両者間に大きな相違がみられたので、教職員としては、今年度の運動会を間近にひかえて子どもの多面的な能力や態度の発達を促しながら喜びをもって自己実現ができるような、発達段階を踏まえた特色ある取り組みであることを示していかなければならないと考えているというお話があった。

札幌円山幼稚園では遊びの5本柱(①自由遊び、②体育遊び、③総合表現活動、④自然体験学習園での遊び、⑤英語遊び)を標榜し幼児教育に取り組んでいる。そして、自由遊びを5本柱の基本に据えながら、更に多彩な設定保育による遊びを呈示し、それらを総合化する営みとして諸行事を位置付けている。委員会は、それらを子どもの成長にとって欠いてはならない要素として位置づけ、全体的、全面的、総合的に教育するための構造的なカリキュラムを組織しそれと真剣に向き合って教育に当たっていることに満腔の敬意を表したい。



# 平成30年度保護者アンケート評価と教職員自己評価の比較

		保護者				回答人数 228人					
項目	A よい		B ふつう		C 改善を望む		無回答		D我子不該当		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
E	1 お誕生会	186	81.6%	17	7.5%	0	0.0%	25	11.0%		
	2 収穫祭	192	84.2%	23	10.1%	1	0.4%	12	5.3%		
	3 運動会	179	78.5%	29	12.7%	2	0.9%	18	7.9%		
	4 教育発表会	200	87.7%	20	8.8%	2	0.9%	6	2.6%		
	5 総合表現活動 けんば集会	185	81.1%	29	12.7%	5	2.2%	9	3.9%		
	6 親子遠足	150	65.8%	55	24.1%	8	3.5%	15	6.6%		
	7 個人懇談	174	76.3%	45	19.7%	2	0.9%	7	3.1%		
	8 参観日	187	82.0%	34	14.9%	6	2.6%	1	0.4%		
F	1 災害	88	38.6%	127	55.7%	13	5.7%	0	0.0%		
	2 不審者対策	103	45.2%	105	46.1%	20	8.8%	0	0.0%		
	3 交通事故	178	78.1%	50	21.9%	0	0.0%	0	0.0%		
	4 行動のコントロール	161	70.6%	43	18.9%	0	0.0%	3	1.3%	21	9.2%
	5 公道・雪道・雪山対応	146	64.0%	49	21.5%	1	0.4%	6	2.6%	26	11.4%
		教職員(園長・副園長・教職員)				回答人数 22人					
項目	A よい		B ふつう		C 改善を望む		無回答		D我子不該当		
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
E	1 お誕生会	22	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%		
	2 収穫祭	20	90.9%	2	9.1%	0	0.0%	0	0.0%		
	3 運動会	21	95.5%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%		
	4 教育発表会	21	95.5%	1	4.5%	0	0.0%	0	0.0%		
	5 総合表現活動 けんば集会	18	81.8%	2	9.1%	0	0.0%	2	9.1%		
	6 親子遠足	16	72.7%	5	22.7%	0	0.0%	1	4.5%		
	7 個人懇談	15	68.2%	5	22.7%	0	0.0%	2	9.1%		
	8 参観日	19	86.4%	2	9.1%	0	0.0%	1	4.5%		
F	1 災害	17	77.3%	3	13.6%	0	0.0%	2	9.1%		
	2 不審者対策	11	50.0%	8	36.4%	1	4.5%	2	9.1%		
	3 交通事故	17	77.3%	3	13.6%	0	0.0%	2	9.1%		
	4 行動のコントロール	15	68.2%	5	22.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.1%
	5 公道・雪道・雪山対応	15	68.2%	5	22.7%	0	0.0%	0	0.0%	2	9.1%